6.B ロータリー財団の補助金（未来の夢）

ロータリー財団管理委員会は、未来の夢計画の下、補助金の種類と支給方法に大幅な変更を加えました。未来の夢試験段階は、2010年7月1日から2013年6月30日までとなっており、2013年7月からは、全地区で新しい補助金構成が導入される予定です。

未来の夢の試験段階中も、ポリオ・プラス、ロータリー平和センター、募金活動、ロータリー財団の各種表彰については、変更はありません。

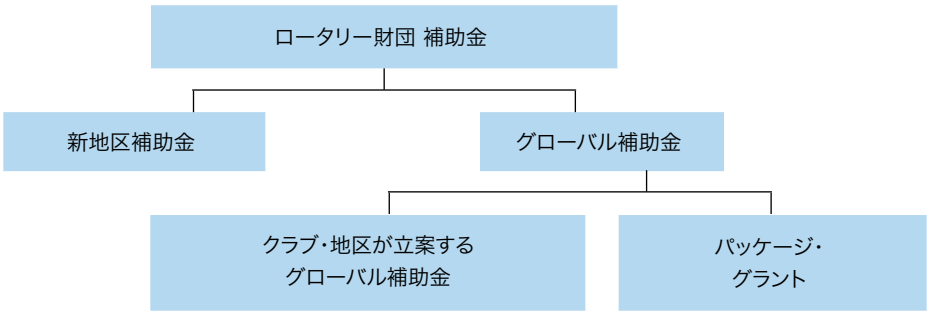
未来の夢計画は以下を目的としています。

- 財団のプログラムと運営を簡素化すること
- ロータリアンが関心を寄せている世界の優先的ニーズに取り組むことによって、最大の成果が期待できる奉仕活動に焦点を絞ること
- 世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供すること
- 意思決定権をさらに地区に移行することによって、地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること
- ロータリー財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること

未来の夢計画では、「新地区補助金」と「グローバル補助金」の2種類の補助金が提供されます。また、グローバル補助金にはクラブや地区がプロジェクトを立案する補助金と、パッケージ・グラントの2つのオプションがあります。補助金の申請にあたっては、まず、クラブまたは地区が参加資格の認定を受けていなければなりません。詳しくは本章の参加資格認定の項をご参照ください。

お忘れなく

ロータリーEラーニング「ロータリー財団の補助金を選ぶ」で、補助金について詳しく学ぶことができます。



新地区補助金

新地区補助金は、クラブと地区が、ロータリー財団の使命を支え、特定の関心に応じて地元や海外の緊要なニーズに取り組むための補助金です。

補助金活動の計画

地区は、地区財団活動資金（DDF）の50パーセントまでを、毎年、一口の補助金として申請できます（ポリオ・プラスの支援や、規模の大きいグローバル補助金への参加にDDFを使うため、新地区補助金を50パーセントよりも少なくすることもできます）。補助金の管理は地区が行い、以下のようなプロジェクトや活動を実施するため、クラブが地区に資金を申請します。

» **奉仕プロジェクト：**地元や海外のプロジェクトの支援、ボランティア奉仕のための渡航費、災害救援など。

» **奨学金：**従来よりも柔軟なかたちで奨学金を提供できます。レベル（大学、大学院）、期間、専攻分野に関する制約はなく、地区が独自に資格基準を設けます。奨学金の授与額の制限もありません。奨学生が海外へ留学する義務はないため、自国の大学へ通う学生を支援することもできます。

» **職業研修：**地元で職業研修を支援、または海外に職業研修チーム（VTT）を派遣して指導を行ったり、研修を受けるために、補助金を使用できます。補助金小委員会の支援の下、地区が、参加者の資格要件を決めます。交換先に関する要件や、全世界共通の要件はなく、チームの規模、交換の期間、参加者の年齢についても地区が決定できます。

地区は、クラブから提案書を集め、どの活動に補助金資金を配分するかを決定します。

補助金の使用計画

地区ガバナー、地区ロータリー財団委員長、地区補助金小委員長が、クラブからの補助金要請を基に、使用計画を作成します。次に、この役員3名が申請書を承認し、オンラインで使用計画を提出します。財団で申請書が審査され、承認された後で、補助金資金が支払われます。

この表は、承認された第1970地区（ポルトガル）の新地区補助金使用計画の見本です。

クラブ／地区（1970地区）	プロジェクトの内容	活動の種類	予算（米ドル）
Coimbra	麻薬常習者更正施設「ACERC」に設備を寄贈することにより、入所者の生活環境を改善。	地域社会の発展（一般）	413
Coimbra-Olivais	危機下の子供や青少年を支援するため、児童養護施設「Casa de Infância」の研修室に視聴覚機材と家具を寄贈。	地域社会の発展（一般）	519
Oliveira de Azeméis	養護学校にスポーツ用品を寄贈し、子供たちがスポーツやほかの生徒たちとの交流を通じて学べる機会を提供。	地域社会の発展（一般）	3,062
Viana do Castelo	Viana do Castelo病院に超音波検査機を寄贈し、正確な乳がん診断と早期治療を促す。	保健（医療設備）	13,014
Senhora da Hora	PadroenseスポーツセンターにAEDを寄贈し、地域社会の人々に役立ててもらう。	保健（医療設備）	1,171
Coimbra Santa Clara	家庭内暴力の被害者である女性たちを支援するFundação Esperança Vivaセンターに視聴覚設備を寄贈。	地域社会の発展（一般）	518
Valongo	ボランティアの消防団「Bombeiros Voluntários de Valongo」にAEDを寄贈し、地域社会の人々の命を救う。	保健（医療設備）	1,404
Penafiel	ボランティアの消防団、「Penafiel and Entre-os-Rios」の救急車2台に、AEDを備え付け、地域社会の人々の命を救う。	保健（医療設備）	3,068

申請手続き

地区ガバナー、地区ロータリー財団委員長、地区補助金小委員長が、オンラインの「会員アクセス」で申請書を提出します。申請書はいつでも提出できますが、ロータリー年度の開始とともにすぐ補助金の支給を受けられるよう、年度前に提出しておくとよいでしょう。

支払い

地区は、承認された新地区補助金をその年度の7月1日から5月15日までの間に、一括で受け取ります。新しい補助金を受け取るには、過去の補助金活動がすべて完了し、財団の補助金を使って地区が提唱した全プロジェクトの報告要件を満たしていなければなりません。

報告

地区は、補助金を受領してから12カ月以内に、最終報告書をロータリー財団へ提出しなければなりません。この報告書には、使用計画と同じ形式で、補助金資金の最終的な使途を記載します。

地区が当初に提出した使用計画と、実際の使途が異なる場合は、最終報告書に変更点を必ず明記してください。また、プロジェクトの完了を待たずに、全補助金を各プロジェクトに支出した時点で最終報告書を提出できます。クラブは、補助金を使用した後に地区に報告書を提出する必要があります。クラブの報告書は、書類保管の要件に従って、地区が保管します。毎年、新地区補助金の使用についてクラブに報告するのも地区の責務です。

グローバル補助金

グローバル補助金は、財団からの大きな支援の下、より長期的な視点から持続可能な活動に参加する機会を提供するものです。財団の使命に関連する以下の重点分野において、多大な影響をもたらす大規模なプロジェクトや活動に補助金を活用できます。

- 平和と紛争予防／紛争解決
- 疾病予防と治療
- 水と衛生設備
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 経済と地域社会の発展

クラブと地区は、重点分野の範囲内で、独自のグローバル補助金プロジェクトを立ち上げることができます。また、協同組織と合同でロータリー財団が立案した長期的なプロジェクトを支援するためにパッケージ・グラントを利用することもできます。

クラブ・地区が立案するグローバル補助金

このグローバル補助金では、予算が少なくとも30,000米ドルのプロジェクトに対し、国際財団活動資金（WF）から最低15,000米ドルが授与されます。DDFに対しては100パーセント、現金拠出に対しては50パーセントのWFが、上乗せ資金として提供されます。グローバル補助金は、2つのクラブまたは地区（実施国協同提唱者と、実施国外の援助国協同提唱者）が提唱したものでなければなりません。また、実施国、援助国の双方の提唱者は、未来の夢試験段階に参加する地区（またはその地区内のクラブ）である必要があります。

お忘れなく

詳しくは「重点分野における適切なプロジェクトや活動を立案するために」と「持続可能性とグローバル補助金」をご参照ください。

- **人道的プロジェクト：**グローバル補助金を利用して、持続可能で、成果を具体的に測定できる人道的プロジェクトを実施することができます。「持続可能」なプロジェクトとは、補助金資金がすべて使い尽くされた後にも、地域社会の継続的ニーズを満たすために、プロジェクトの成果を長期的に持続できるようなプロジェクトを指しています。「測定可能」なプロジェクトとは、データ収集と分析に結びつく成果を残せるようなプロジェクトを指しています。提唱者は、計画段階の初めに地域社会のニーズ調査を実施し、受益社会が有するリソースと最も差し迫ったニーズは何かを特定し、このニーズに取り組むプロジェクトを開発します。
- **奨学金：**6つの重点分野のいずれかに関連した専攻分野とキャリア目標を持ち、大学院レベルの奨学金を求めている奨学生を、グローバル補助金で援助できます。この奨学金は1～4年間、授業料、寮費、食費などを賄うものとなります。補助金を申請する時点で、受入を担当する試験地区（受入地区）内に所在する大学からの入学許可状を奨学生から提出してもらい、また、受入地区と、提唱者を派遣する試験地区（派遣地区）の番号を入力する必要があります。
- **職業研修：**受益社会で人々のスキルを伸ばすために、職業研修を実施することができます。プロジェクトを持続可能なものとするため、人道的プロジェクトと併せて実施するケースもあります。技術を学んだり、現地の人々を指導したりするため、複数の専門職業人から成る職業研修チーム（VTT）を海外に派遣する目的でもこの補助金を使用できます。職業研修チームのメンバーはそれぞれ異なる職業であっても構いませんが、同じ重点分野を支援するという共通の目的を有していなければなりません。チームは、ロータリアンのチームリーダー1名、ロータリアン以外のチームメンバー3名以上で構成されます。チームメンバーの人数制限はなく、また参加者の年齢、滞在期間に関する制約もありません。

測定可能性と評価

成果を測定することで、プロジェクトがどの程度の影響をもたらしたかを把握し、将来のプロジェクト計画に役立てることができます。計画の段階から成果の測定方法を決めておき、補助金の申請時にそれを詳しく説明します。目標は、量と質の両面で測定できる（数で表し、言葉で明確に説明できる）ものとしてください。

量的な目標を定めるには、まず基準となるデータを特定します。次に成果を測定する方法を決め、詳細な計画を立てます。プロジェクトの目標を立て、進展を確認する方法については、以下の表をご参照ください。

質的な成果は、数や統計で測定しにくいものです。例えば、「新しい機材の導入によって日々の生活にどのような変化があったと感じるか」は質的な成果を表します。つまり、感想や意見、体験談を通じて質的な成果を探ることができます。量的なデータを集めた後で、受益者から話を聞く機会を設け、プロジェクトについてどのように感じているか、プロジェクトから恩恵を受けたと思うかどうかを尋ねます。

正確な評価を行うために、以下を考慮に入れるとよいでしょう。

1| **プロジェクトの対象者（誰が恩恵を受けるか）を明確にする。**地域社会のニーズ調査を徹底して行い、活動案、場所、対象者を決めます。また、ニーズ調査でプロジェクト実施前のデータを集め、このデータを基準に具体的な目標を設定し、成果を測定します。

2| **具体性を持たせる。**誰が恩恵を受けるのか、プロジェクトがどのように展開するかを明確にイメージします。

3| **指標を定める。**期日を定め、それまでにどれだけ目標を達成できたか評価できるようにします。

4| **測定方法を決める。**どのように情報を集めて目標の達成状況を測るか決定します。

ニーズ調査の結果／基準データ	具体的なプロジェクト目標	目標の測定方法
難民キャンプの1万人の子どもたちは、民族や宗教を超えて誰もが参加できるような活動がない。その結果、ほかの民族や宗教に属する子どもたちとのふれあいの機会がない。	主な宗教グループと民族グループに属する親を集めて委員会を作り、プロジェクトの監督と維持を担当してもらう（2年以内）。	委員を務める親たちに、プログラムの社会的な成果と経済的な成果を尋ねる。
	難民の子どもたちの半数以上が、多様な宗教、民族の集まるスポーツ活動に参加するようになる（3年以内）。	スポーツ活動への参加者を数える（述べ換算をしない）。また、民族、宗教といった統計的情報も取るようにする。
	難民の子どもたちの半数以上が、スポーツ活動に参加した結果、自分の民族や宗教とは異なる子ども少なくとも1人と関係を保つようになる（5年以内）。	参加者にアンケートをとる。自分とは異なる宗教、民族の友達を複数持つようになった子どもたちとの事後面談を行う。
ある農村地域で、教員資格をもった人材が足りないため、教職員が25パーセント足りない。	地元住民20人に、教育学の学士号を取るための奨学金を提供する（5年以内）。	奨学生の数を数える。大学教員コースへの入学状況を調べる。
	奨学生の80パーセントが学位を取得し、教員の資格を得る（5年以内）。	奨学生にアンケートを取り、教員資格をめざす就学状況を尋ねる。
	教員資格を得た奨学生の50パーセントが地元に戻り、教職に就く（5年以内）。	奨学生の就職状況とその場所を調査する。

業務サイクル

グローバル補助金の申請書は、年度を通じて随時提出することができます。手続きは、提案と申請の2つのステップがあり、いずれもオンラインの「会員アクセス」を通じて行います。

1| **提案書**
正式な申請書を提出する前に、提案書をオンラインで提出します。提案書では、活動の目的と、活動が重点分野にどのように当てはまるかを簡単に説明します。このステップを踏むことで、申請書が承認される確立が高まります。

2| **申請書**
提案書が承認されてから、6カ月以内に申請書を提出します。申請書には、活動内容と予算の詳細を含めてください（補助金の授与額やプロジェクトの複雑さによって財団からさらに詳しい情報を求められる場合もあります）。100,000ドル以上の補助金については、管理委員会の承認が必要です。また、奨学金と職業研修チーム（VTT）については、所定の書類をアップロードし、これを申請書に添付する必要があります。

3| **支払い**
申請書が財団により承認され、双方の提唱者が同意書に同意し、拠出金（提唱者側負担金）が財団で受領された後で、財団から補助金の支払いが行われます。

4| **報告**
補助金の最初の支払いから12カ月ごとに、活動の成果をまとめた中間報告書を財団に提出してください。また、プロジェクトが完了してから2カ月以内に最終報告書を提出する必要があります。いずれも会員アクセスから提出できます。期限を過ぎても未提出の報告書がある提唱者は、財団に新たな補助金申請書を提出できませんのでご注意ください。

お忘れなく

グローバル補助金は、さまざまな活動に利用できますが、補助金の授与と受諾の条件を満たしていなければなりません。

パッケージ・グラント

パッケージ・グラントは、ロータリー財団と協力組織が立案した活動の枠組みの中でクラブや地区がプロジェクトを実施するもので、WFと協力組織から資金が提供される補助金です。重点分野に取り組むものであれば、奨学金、人道的プロジェクト、職業研修のいずれにも使用できます。

この補助金では、協力組織や活動全体の枠組みが既に決まっているため、ロータリアンは活動の実施のみに能力やエネルギーを集中させることができます。さまざまな参加方法がありますが、以下はその一例です。

» 地域社会の調査とプロジェクト対象者の特定

» 専門知識の提供、直接的な奉仕活動、外部への働きかけ

» プロジェクトの推進と広報

» プロジェクトの監督と評価

提唱者が海外の協力相手を見つける必要があるかどうかは、そのプロジェクト、活動のニーズ、目的によって異なります。

申請書は「会員アクセス」から提出します。また、パッケージ・グラントの申請書を財団に提出する前に、地区ロータリー財団委員長の承認が必要となります。

新しいパッケージ・グラントの情報は、ウェブサイト（www.rotary.org）に掲載されます。

地区の参加資格認定

未来の夢試験地区は、ロータリー財団の補助金資金を直接管理します。補助金の資金管理に備え、新地区補助金とグローバル補助金を受領する資格要件を満たすために必要なのが、資格認定の手続きです。地区は「会員アクセス」を通じてオンラインで資格認定手続きを行い、覚書（MOU）を読んでこれを実行することに同意し、新地区補助金を受け取るための受取人情報と、毎年行う財務監査について情報を入力します。覚書の要件を実行する前に資格認定を受けられますが、実際に補助金資金を受領するまでにはこの覚書の要件を実行していなければなりません。「覚書（MOU）に関する指針」に各要件が詳しく説明されています。こうした要件を一つひとつ満たしていくことで、地区が補助金管理のベストプラクティスを導入し、適切な資金管理を行うための準備を整えることができます。

地区ロータリー財団委員長は、地区の資格認定手続きを助け、覚書が必ず実行されるよう確認します。また、新地区補助金の連絡担当者を務め、財団に提出するグローバル補助金申請書を承認するもの同委員長です。申請書の承認では、DDFの申請状況を確認し、またクラブが参加資格を満たしていることを証することとなります。

参加資格について、毎年、再承認を行う必要があります。地区ガバナー、地区ガバナー・エレクト、地区ロータリー財団委員長（新しい委員長が就任した場合）が会員アクセスの未来の夢試験地区のページを開き、パート2と3の情報が正しいことを確認し、パート1と4に同意しなければなりません。参加資格を維持するには、要件を満たした上、再承認の手続きを7月31日までに済ませる必要があります。

世界各地から

インドの試験地区については、標準の覚書（MOU）と手続きが異なります。インドの地区と活動を計画する際は、こちらの書類（英語）をご参照ください。

お忘れなく

「会員アクセス」で資格認定の手続き、補助金の申請と報告を行う方法については、ロータリーのEラーニング・センターをご覧ください。

クラブの参加資格認定

地区は毎年、クラブの参加資格認定を行います。認定にあたっては、グローバル補助金を希望する全クラブを対象に補助金管理セミナーを少なくとも1回開催し、クラブの覚書に記載された資金管理と財務慣行の実行においてクラブを援助します。

補助金小委員会が、クラブの資格認定の監督にあたります。補助金管理セミナーを実施する際には「補助金管理セミナー指導者用の手引き」を参照し、クラブには「補助金管理の手引き」を使用してもらいます。

徹底した資金管理を行い、地元の法律を順守するため、地区がクラブの覚書に新たな要件を追加することもできます。ただし、追加要件は、どのクラブも実行可能で、地区が管理できる、妥当なものとする必要があります。

地区が追加で設定するクラブ要件の例：

- クラブは、補助金の申請に先立ち、地区補助金小委員会に提案書を提出しなければならない。
- すべての補助金活動について、期限通りに報告書を提出しなければならない。
- 新地区補助金を利用する場合も、クラブは参加資格手続きを行わなければならない。

参加資格に関する詳細は、www.rotary.orgをご覧ください。

ロータリー平和フェローシップ

ロータリー平和センター・プログラムは、国際関係、平和研究、紛争解決などの関連分野の修士号、あるいは平和と紛争解決の分野の専門能力開発修了証の取得を目指す人に、ロータリー平和フェローシップ（奨学金）を提供するものです。

候補者の推薦

地区は、資格を満たしている候補者を推薦するよう奨励されており、申請書を7月1日までに財団へ提出します。申請から世界選考を経て、毎年100名までのロータリー平和フェローが選ばれます。紛争地域にある地区は特に、地元や世界各地の紛争解決、紛争後の対応にあたる人材を育成するため、優秀な候補者を探すよう期待されています。

ロータリー平和フェローシップを担当する小委員会が、候補者の募集方法を決めます。地区は、優秀な候補者を集めるために十分な募集期間を設け、3月1日以降に面接を行います。

フェローシップの選考委員会には、現地区ガバナー、直前ガバナー、ガバナー・エレクト、地区ロータリー財団委員長、補助金小委員長に加え、平和、紛争解決、教育に詳しい人物や地域・事業の指導者など3名（ロータリアンであるなしを問わない）を含めます。

平和フェローのための資金調達

ロータリー平和フェローは全世界から寄せられた資金で支えられています。地区は、ロータリー平和センター・プログラムにDDFを寄贈するよう奨励されていますが、これはほかの奨学金のように、地区が選出したフェローを直接支援するものではありません。地区が修了証プログラムまたは修士号プログラムに寄付をしたか否かにかかわらず、全世界で最も優秀な候補者を、公平にバランスよく選出することがねらいです。

プログラムに毎年25,000米ドル相当のDDFを寄贈、または隔年で50,000ドルのDDF寄贈を誓約した地区は、「平和推進地区」となり、特別な認証を受けます。

継続的にプログラムの資金を確保し、恒久的な基金を築くため、財団は、WFやDDFからの誓約とは別に、期間限定寄付、寄贈基金、大口寄付の誓約を求めており、2015年までに9,500万ドルに達することを目標としています。ロータリー平和センター大口寄付推進計画の詳細は、ロータリーのウェブサイト（「寄付」＞「支援方法」＞「国際問題研究のためのロータリー・センターへの寄付」）をご参照ください。

お忘れなく

詳しくは、「ロータリー平和センター ロータリアンのためのプログラムの手引き」（085）をご覧ください。

DDF使用に関する地区の方針

未来の夢計画では、地区が、新地区補助金とグローバル補助金に使用するDDFの金額を決定します。ロータリー財団の補助金の利用を促すために、地区で明確な方針を設け、これをクラブに説明しておくことが重要です。補助金小委員会が、地区の方針をクラブに伝えるようにします。方針を作る際は、以下を検討するとよいでしょう。

- 利用可能なDDFはいくらか。
- 地区のその年度の優先事項は何か。
- クラブ会員の関心事項は何か。
- DDFをどのように配分すれば、WFから最大の上乗せ資金を得られるか。
- クラブが新地区補助金の資金を地区に要請する締切日、またはグローバル補助金の申請を地区に提出する締切日はいつか。

お忘れなく

DDFが地区の方針に従って配分されるようにするのは、地区補助金小委員会の責務です。

» 新地区補助金とグローバル補助金それぞれについて、地区はどのような方針を設けるか。

» 新地区補助金を利用するクラブの参加資格を設けるかどうか。

» 地区が将来使用できるDDFを増やすため、ロータリー財団への寄付についてどのような方針を設けるべきか。

ロータリー財団の学友

1947年以来、110,000人以上がロータリー財団の奨学金や補助金を受領しています。これらの元プログラム参加者はロータリー財団の力強い賛同者であり、財団への寄付者となる可能性もあるため、末永く関係を維持することが大切です。

学友は以下を行うことができます。

» 奉仕活動や親睦を目的に、海外の地区を紹介する。

» ロータリー財団のおかげで自分の人生がいかに変わったかをクラブ会員やメディアに話す。

» 知人にプログラムへの参加を勧める。

» 選考、オリエンテーション、受け入れについて、アドバイスをする。

» 地区でロータリーの活動を支援するため、学友会に参加する（または学友会を結成する）。

» クラブ入会候補者または寄付見込者となる。

グローバル補助金で支援された元奨学生、職業研修チーム（VTT）元参加者は、ロータリー財団の学友とみなされます。新地区補助金で支援された元奨学生・元参加者も、財団に連絡先を報告すれば、財団の学友のリストに含まれます。

補助金小委員会は、最近の学友に関する情報を提供するなどして、地区会員増強委員会に協力します。地元の学友の連絡先に変更があった場合は、財団の学友担当職員へEメール（alumni@rotary.org）でお知らせください。

補助金に関するリソース

未来の夢試験地区のための最新のリソースは、www.rotary.org/ja/fvdistrict でご覧いただけます（「会員」>「地区の運営」>「未来の夢計画」>「リソース」）。